



撮影：Jスカイフォトサービス

蒲生田岬から伊島を望む空撮写真を見た。写真展の表題には「空から眺めたKITTT」とある。ラジコンヘリで撮影した驚心動魄の風景写真に釘づけになった。どれも豊かな自然がなければ生まれなかつた作品ばかり。四国東端部の自然のすばらしさに気づかされる。KITTTとは、「蒲生田、伊島、椿泊、椿」の略。「阿南の桃源郷」ともいわれる境地の豊かな自然や貴重な歴史遺産を再発見し、保存・継承活動に取り組む「阿南市KITTT賞賛推進会議」が企画した。

故・後藤善猛さん（桑野町）の呼び掛けで、平成18年4月に発足。「知ろう！守ろう！伝えよう！」の旗印に、県内外から大勢の有志が賛同した。あるがままの自然や暮らしの中に、もつと掘り起こして知っておかなければならない宝物がたくさんある。地域の人たちと手をつなぎ、守り伝えていこうという高遠な夢の推進が始まった。「自然」「ウミガメ」「歴史民俗」「広報」部会を設け、観察会や保全活動などに取り組む。それぞれの活動記録は新聞記事などとともに冊子にま



写真展



約300人が参加した蒲生田海岸清掃(6月1日)

とめ、インターネットでも配信している。「活動に参加するたびに新しい発見があります」と会長の湯城豊勝さん（62歳・那賀町）。偉大なる指導者、後藤さんの遺志を受け継ぎ、探究心を高めている。「地域の財産に『新たな命』を吹き込むことで、今まで以上に地域がきらきらと輝くような取組を活発化させたい」

地域の自然や文化、歴史を支えているのは、こうした人々の熱心な思いだろう。期待の一方、KITTTの会には課題もある。会員の減少と高齢化だ。かつて360人いた会員は約200人に減り、70〜80代が中心になった。室戸阿南海岸国定公園指定50周年に当たる今年には、活動を広く知ってもらおう好機。8月3日(日)には、芸術祭が行われる伊島でウオーキングツアーを開催する。来島者の感動が島民の誇りになり、来訪者の「観光」は島民の「感幸」に変わる。心の交流にもきつと一役買ってくれるはず。夢物語の続きが楽しみだ。

## 阿南市KITTT賞賛推進会議



伊島の植物観察会(平成25年6月9日)

阿南市KITTT賞賛推進会議

広報部会 後藤晶子

☎0884-3928-9937